

一七 (慶応四年) 八月 上野諸藩の利根東入り出兵につき助

郷人足触書〔C〕

覚

一人足拾三人

町田村[㊦]

一人足七人

下沼田村[㊦]

右者、東入筋出兵之^{ひがしり}「諸藩、早駕籠夜中^{はやかご}」差懸り度々通行ニ付、

継立大差支ニ付、此差紙^{ましがみ}「披見次第^{ひけん}、無^{ちた}遲滞^{いな}」、沼田町^{けんたん}「検断方

江差出、助郷相勤^{すけごう}」可^う申候、尤明日^{あした}日^ひ割合^{わりあ}」引直し、相触候積り

之处、今晚^{こんばん}」之儀、差懸り無^な抛^な相達^{あひあ}」候之条、乍^は迷惑^{まご}差出可^う

申候、」已上

(慶応四年)

八月十五日

長井 右平治

熊沢 小源太

田村 民衛

右両村

名主